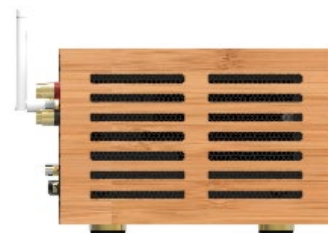




MARANTZ 7、LEAK STEREO 20
 往年の歴史的銘器をリスペクト



STEREO 50



携帯電話やタブレット、コンピューター、LPレコードプレーヤーの接続



最高にリアルなサウンドを求めた純粋な真空管システム

PCM DXD: DSD
 Quad-DSD256 Octa-DSD512
 11.2! 12.4! 22.6! 24.6!
 352.8! 384! 705.6! 768!

DSD256~512、PCM192、DXD384-768KHzが再生可能

LPレコードからスマートフォンまで再生できます。

A級動作による、うっとりするほどの音質とリアルさ

未来を先取りした究極のオーディオを長期間にわたって楽しむことが可能

Stereo 50で開始されるiFiのRetroは、ひとつの目標を持ったまったく新しい製品レンジです。その目標とは、「年齢、性別、テクノロジーを問わず、音楽を愛するすべての人を対象とする」というものです。

Retro Stereo 50は、オールインワンの真空管ステレオシステムです。Bluetoothによるaptx（携帯電話やタブレット）からハイレゾのデジタル（コンピューター）に至るまで、さらにはLPレコード（ターンテーブル）に至るまで、すべてを再生できます。だれもが自分の持っている音楽をStereo 50に接続し、まったく驚異的な音質でそれを再生することができるのです。Retro Stereo 50のような製品は、他にはありません。



+

USB
SPDIF

+



38-62dB



バックパネル全体



インプット端子



フォノ入力



ブルートゥースアンテナ



Music is in the air 音楽は空中に

Bluetooth, aptx (ワイヤレス伝送の最良の方法です)、NFC (きわめて簡単です) の機能を備えたスマート機器をStereo 50に「ワイヤレスで接続」することができます。その後は、あなたの音楽アプリを開くだけです。あなたの携帯プレーヤーでも、Spotifyでも、「Play」ボタンを押すだけでいいのです。

aptxオプションを用いれば、通常のBluetoothを超えた、CD品質のワイヤレス・オーディオを聴くことができます。つまり、Stereo 50は、今後長年にわたってスマート機器を使用することができるということです。



ストリーミングとコンピューター・オーディオ用 にUSBとSPDIFを装備

今日、ほとんどすべての家庭でストリーミングが楽しめるようになってきました。それがセットトップボックス (有線放送などの変換器) であろうと、スマート機器であろうと、SPDIF、同軸、あるいはUSB 3.0経由のコンピューターであろうと、問題ありません。SpotifyからJ.Riverに至るまで、好きな方法を選んで、それをStereo 50に接続して、まったく新次元の音で好きな音楽を楽しむことができます!

ハイレゾオーディオ (DSD512, PCM768kHz, 2xDXD) は、USB、同軸、光のすべてに対応しています。接続して座るだけで、音楽を好きな方法で楽しむことができます。



宇宙時代のデジタルとクラシックな真空管テクノロジー

AMRとiFiは、クラシックな真空管テクノロジーと最先端のデジタル・テクノロジーを結び付けることで有名です。たとえば、名高いAMR DP-770デジタル・プロセッサがその例です。Stereo 50は一連の優れた製品ラインの最新のモデルです。EL84X真空管を4本、ECF82真空管を2本使用し、それが最新鋭のゼロから開発された回路で動作します。この回路は、Telefunken、Marantz、Leakなどのクラシック・アンプの名機の最良のDNAを受け継いでいるのです。主としてA級で動作し、25W + 25Wの出力によるサウンドは驚異的なほどリアルです。すばらしい設計とその結果としての実力が音に反映されているのです。

バーブラウン製の最高のチップセット + AMRの異色のテクノロジー

iFiは、「唯一最良のフォーマット」を求めているわけではありません。それよりもむしろ、様々な異なるフォーマットのひとつひとつを、それぞれ最高に良い音で再生することに気を遣っているのです。私たちが使用しているバーブラウン製のDACチップは、バーブラウン・ジャパン (バーブラウン/テキサス・インスツルメンツではありません) によって開発されたものです (もっとも、この製品が導入されたのは合併後ですが)。バーブラウンの「白鳥の歌」となったこのチップセットは、彼らの究極のコンバーター・テクノロジーを用いており、今日でも最高の評価を保っています。あらゆるフォーマットを再生できるチップセットがあるからといっても、それらがネイティブで実行できなければ、つまり、フォーマット間の変換なしで実行できなければ、あまり意味がなくなってしまいます。AMRのテクノロジー (このチップセットをコントロールする異色のソフトウェアを書き上げているのです) を流用してこのバーブラウンのチップセットを駆動すれば、オリジナルの音楽フォーマットを保持することができます。これこそが、ハイエンド再生の頂点を弱めるために、不可欠の要素なのです。



PCM768/DSD512/2xDXDによる「ハイパー・ハイレゾ」



Quad-DSD256 Octa-DSD512

11.2 $\frac{\text{MHz}}{\text{Hz}}$ 12.4 $\frac{\text{MHz}}{\text{Hz}}$ 22.6 $\frac{\text{MHz}}{\text{Hz}}$ 24.6 $\frac{\text{MHz}}{\text{Hz}}$

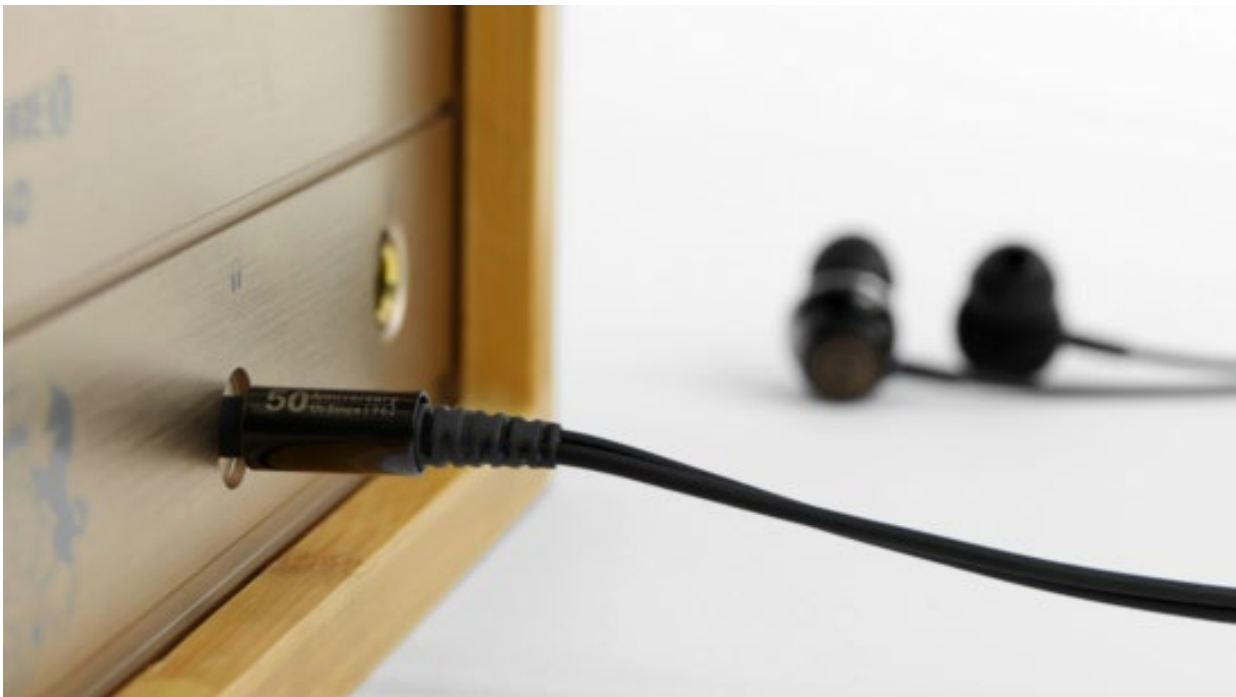
352.8 $\frac{\text{kHz}}{\text{Hz}}$ 384 $\frac{\text{kHz}}{\text{Hz}}$ 705.6 $\frac{\text{kHz}}{\text{Hz}}$ 768 $\frac{\text{kHz}}{\text{Hz}}$

コンピューターによるオーディオ再生は猛烈な速さで進歩しています。Stereo 50は、見かけはクラシックなレトロスタイルがにじみ出ていますが、中身は最先端です。

あらゆるフォーマットを最高レベルで再生することができるのです。

- ・ 16/44kHzから32/768kHzに至るまでのPCM
- ・ Octa-DSD512 (22.6/24.6MHz)に至るまでのDSD
- ・ 2x から768kHzまでのDXD

超最先端のフォーマットとサンプリングレートのみならず、使用されているフィルターも、最高にアナログ的でリアルな再生を確実なものにしています。PCM用のミニマム・フェーズ・フィルターと、DXD/DSD用のビットパーフェクト・フィルターによって、最高の音質を楽しむことができます。これらのフィルターによって、標準的なデジタル再生に見られる「金属的なきつさ」が取り除かれ、なめらかで自然な音が生まれるのです。



インイヤーマニターやヘッドフォンを愛する人にはきつ と喜んでいただけるでしょう

ヘッドフォンをお持ちですか？ それなら、3.5mmジャックと6.3mmジャックを別々に備えたStereo 50は、まさにあなたにぴったりです。各ヘッドフォン端子にはそれぞれ専用のゲインと感度が設定されているので、高感度の（能率の高い）インイヤーマニターにも、感度の低い（能率の低い）オーバーイヤーマニターにも、完璧にマッチします。6.3mmからの出力は、「ターボチャージされた」7,000mWを吐き出します。ですから、たとえばHiFi ManのHE-6のようなもっとも要求の大きなヘッドフォンにも対応できるのです。

Stereo 50は、広く認められているヘッドフォン用3Dホログラフィック・テクノロジーとXBassテクノロジーを搭載しています。これらのテクノロジーは、様々なタイプの録音とヘッドフォンにすべて完璧に対応できる魅力的な能力によって、これを支持する人々を増やしてきました。

headamp
Turbo



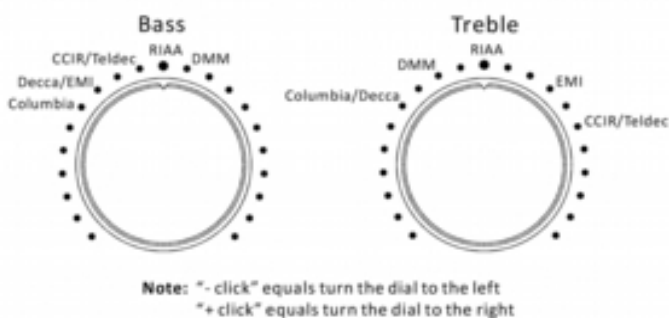
XBass

ヘッドフォン用3Dホログラフィック・テクノロジーは、純粋なアナログ信号処理を行っています。これによって、ヘッドフォンに大きな広がりのある、正確な空間感を持った音場が生み出され、音場が「頭の外の後ろ側」に定位することで、音楽を聴いているという体験が一層豊かになるのです。XBassテクノロジーは、最高に繊細な低音を生み出し、実際に聞こえているとおりになるように、低域レスポンスを矯正します。



LPLレコードから気迫がにじみ出てきます

iFiのiPhonoは、すでに現代の名機となっていますが、Stereo 50のフォノステージも、この優れた技術に倣っています。ゲインは、38～62dBという超広範囲で調節可能で、トーンコントロールシステムは、古典的なイコライゼーション・テクノロジーに立ち戻っています。異なる6つのイコライゼーション・カーブを（精確なトーンコントロール経由で）備えているので、あらゆるステレオ・レコードに対応できます。数多くのiPhonoユーザーが証言しているように、工場出荷時に初期設定されているRIAAからEMIやDeccaに至るまで、適切なイコライゼーション・カーブに設定すると、どのレコードも「LPLレコードの魔法のようなもの」を聴かせてくれます。



EQ	Bass	Treble
RIAA	Centre	Centre
CCIR/Teldec	-1 clicks	+5 clicks
Columbia	-4 clicks	-4 clicks
Decca	-3 clicks	-4 clicks
DMM	+1 clicks	-2 clicks
EMI	-3 clicks	+3 clicks

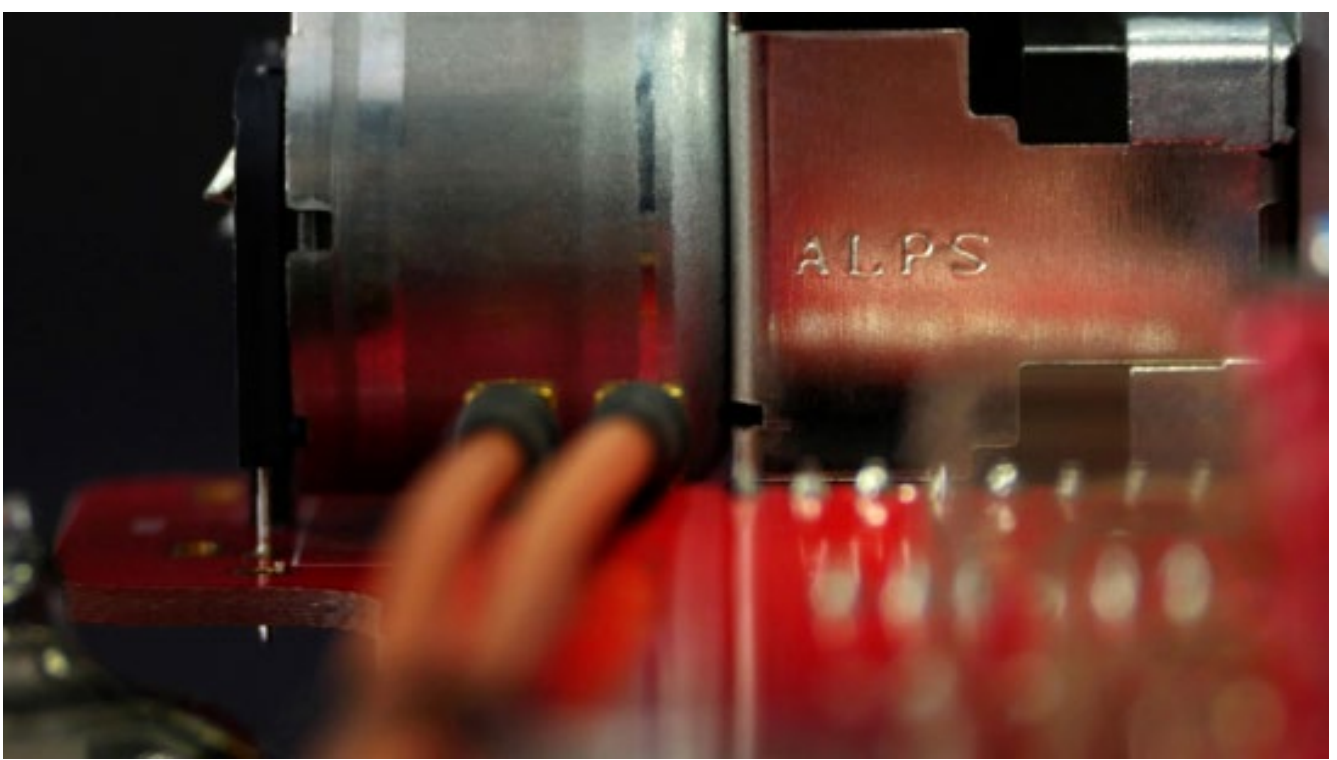
• When the mode switch is selected as Line (+6dB) input, no RIAA EQ is applied.

驚嘆すべきイコライゼーション能力があっても、肝心のフォノステージの能力が最高に発揮されなければ、あまり意味はありません。iPhonoと同じように、Stereo 50は、そのノイズフロアがレコードのノイズフロアよりも低い（通常は高いのですが、そうではないのです）、ほんの一握りのフォノステージのひとつを搭載しています。優れたダイナミックレンジと解像度を持つStereo 50は、多種多様なLPLレコードを難なく再生してくれるのです。

アナログ式のトーンコントロール、ボリュームコントロール、リモコン

デジタルボリュームコントロールは、繊細なオーディオ信号を断ち切ってしまう。ですから、iFiは、何としてでもこれを避けているのです。トーンコントロールとボリュームコントロール（リモコンによる）は、極端と言えるほど高品質です。重要なアナログボリュームコントロールは、日本のAlps社製のモーター駆動によるポテンショメーター（トラッキングエラーが3dB未満）を採用しています。





Stereo 50の4倍の価格のオーディオ装置でも、これほど高品質なボリュームコントロールは搭載していません。iFiを他とかけ離れた存在にしているのは、細部への細心の注意と最高品質の組み立て作業なのです。音を追求する使命の中で、どんな石もめくってみるのです（あらゆる可能性を試すのです）。



Retro Stereo 50 + LS3.5 - オーディオの天国を生み出す魔法の組み合わせ

Retro LS3.5スピーカーを含むStereo 50のフルシステムは、オーディオの天国で生み出された組み合わせです。



LS3.5は、伝説的なBBC LS3/5aを、iFiが21世紀の目で捉えて再現したスピーカーです。このLS3.5を生み出すために、iFiは最新のテクノロジーと理想的な素材を求めて、世界中を探し回りました。その結果生まれたのが、ゾクッとするほど深い、広帯域な、空間感のあるサウンドなのです。

時流に真っ向から逆らいながら、LS3.5（詳細は、LS3.5の解説をご覧ください）は、iFiがiFiのために設計したものです。ですから、このスピーカーが持つドライバーや特長は、価格にかかわらず、他のどんなスピーカーにも見いだすことはできません。

ホーン付きのシルクドーム・トゥイーター（1.1インチ径）と、コーティングされたナチュラルペーパードライバー（4.5インチ径）は、iFi内部で開発されました。どちらのドライバーも、iFiが設計し、iFiが使用するのです。これは、マスマーケット対象のスピーカーでは前例のないことです。

共振のない竹製のキャビネットは、環境に優しいとともに、音質の点でも妥協はありません。キャビネットは木製のものよりも3倍の強度がありながら、重量は半分しかありません。ですから、ダンピングしすぎることもないのです。

タイムアライメント（時間整合）も完璧に施されており、内部の音響テクノロジーも、他のスピーカーを引き離すほどのものです。内部構造は、楽器製造の手法を使って、細かくチューニングされています（サウンドバーや支柱など）。

これらすべてがStereo 50のスピーカー用XBassと3Dホログラフィック・テクノロジーと組み合わせられて、最高のサウンドを生み出しています。それはまさに、OTW（Out of This World この世のものとは思えない）なのです。

仕様

ワイヤレス・インプット

Bluetooth (aptX) x 1

デジタル・インプット

USB
(DSD512/768kHz/2xDXD) x 1
Coaxial (192kHz) x 1 Optical (192kHz) x 1

アナログ・インプット

Phono(MM/MC Low/MC High/Line 3) x 1
Line 1 x 1
Line 2 x 1
3.5mm (share with Line 2) x 1

アウトプット

Loudspeaker Output x 1 3.5mm Headphone Output x 1
6.3mm Headphone Output x 1

オーディオセクション

出力 (Music) > 25 x 25w (majority Class A)

全高調波歪率(THD) < 0.2% (@ 2.83V/1W)出力帯域幅 10Hz - 60kHz周波数特性 10Hz - 80kHz S/N比 > Amplifier 101dB (@ max output); >
Phono MM: 90dB(A); > Phono MC: 80dB(A) DACダイナミックレンジ > 113dB(A)
トーンコントロールBass(100Hz) +/-8dB; Treble(10KHz) +/-8dBアナログ信号プロセッシング (ASP) XBass; 3D Holographic
フォノゲイン 38, 50, 62dB
RIAA精度 <0.5dB
真空管 2 x ECF82; 4 x EL84X

デジタルセクション

PCM
768/705.6/384/352.8/192/176.4/96/88.2/48/44.1kHz DSD
512/256/128/64 24.6/22.6/12.4/11.2/6.2/5.6/3.1/2.8MHz
DXD
768/705.6/384/352.8kHz
フィルター選択 Minimum
Phase (PCM
192/176.4/96/88.2/48/44.1kHz),
Bit Perfect (DXD/PCM
768/705.6/384/352.8),
Analogue (DSD)

その他

電源 AC 100V-240V
消費電力 100W~0.1W(Standard mode)
寸法 (W x H x D) 300 x 153 x 226mm
重量 5.8kg
標準的な小売価格 190,000円 (税別) 209,000円 (10%税込)
バーコード 5081313801152



セット価格

Retroシリーズ・スピーカーLS3.5との標準的なセット価格280,000円 (税別)

Windows用ドライバ ーダウンロード

USBドライバー : iFi-Audio専用共通ドライバーを使用